

やりがいのある診療所

伊藤 泰斗

佐久総合病院小海分院内科／佐久総合病院総合診療科の伊藤泰斗と申します。私は医師6年目になりますが、医師としてスタートしてから佐久総合病院グループで診療をさせていただいています。また川上村診療所に勤務するようになってから、2年が経とうとしていますが、すでにさまざまな経験をさせていただいています。今回はその中で一つ、認知症サポート医という役割を紹介させていただければと思います。

川上村には「オレンジチームかわかみ」という認知症初期集中支援チームがあります。ご自分の物忘れについての心配を相談したい場合や、周囲で物忘れがあって困っている方がいる場合などに、ご本人やご家族をチームとしてサポートする目的で作られました。メンバーは認知症サポート医1名、医療・介護の専門職4名で構成されています。私は認知症サポート医として、このチームに関わっています。このような活動にはチームメンバーのみではなく、村の住民の方や郵便局、商店などの方のご協力が不可欠です。今後は、チームの活動や認知症についての知識などを村民の方にお伝えし、村全体で一つのチームとして活動できるように頑張りたいと思います。

私は病院と診療所で勤務をしながら、いろいろな場面で患者さんや地域に関わりたいと考えています。南佐久地域はとても温かく、やりがいを感じる地域です。忙しいこともありますが、楽しいメンバーで日々過ごしています。もし、このような医療に興味がある方がいらっしゃいましたらぜひ一度遊びに来てください！



佐久市「うすだ健康館」で住民の皆さんとお話する「佐久病院とお茶べり」。青柳医師と参加し、一酸化炭素中毒について寸劇で説明しました。（筆者右）